

大学院全体

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学のアドミッション・ポリシーは、大学院規則第2条に謳（うた）われた目的並びに各研究科の人材育成の目的に沿い、次のとおりとしています。

共通

岐阜聖徳学園大学大学院は、建学の精神である「仏教精神」に基づく情操教育を大切にす
る質の高い人間教育を目指しています。真理を探究し、あらゆるいのちの個性を尊重し、自
己中心的なこころを離れ、世のため人のために尽くすことに喜びを感じずるような人を求め
ます。

各研究科では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容を踏ま
え、入学後の学修・研究に耐えうる学生を選抜するために、一般入試の他に、社会人特別選
抜入試、留学生特別選抜入試、岐阜県公立学校現職教員特別選抜入試（経済情報研究科博士
課程（後期）を除く）の実施により多様な入学者選抜を行います。

入学者選抜においては、各研究科の人材育成の目的にかなう資質・能力等を判断するた
め、試験種別ごとに学力検査、面接、成績証明書、研究計画書、履歴書などを組み合わせ、
多面的・総合的に評価を行います。

経済情報研究科

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

経済情報研究科では、高度な情報技術や経済及び経営に関わる専門的知識の修得を基
礎に、修了後に関連分野において活躍できる専門的職業人及び研究者を養成することを目
標にしています。そのために博士課程（前期）では、学部での専門分野を問うことなく、
入学目的や将来計画が明確で意欲旺盛な以下の人を求めます。

- ・ 今後の職業や進路に資するために高度な技術や知識をより深く研究しようとする人
- ・ 実務や経験で得た知識を高い見地から整理統括して活用発展させようとする人
- ・ 社会のグローバル化の中で活躍を希望する留学生

さらに、博士課程（後期）においては、博士課程（前期）で修得した知識を基礎とし
て、博士号の取得を目指したコースワークやトレーニングを行いながら、専門的研究を発
展させようとする人を求めます。

博士課程（前期）

一般入試では成績証明書、履歴書により本研究科における学修・研究に耐えうる基礎的
知識、論理的な思考力を重点的に評価し、小論文の学力検査、面接により選抜します。

社会人特別選抜入試及び岐阜県公立学校現職教員特別選抜入試では、成績証明書、履歴
書に加え、出願時の課題論文の論述、社会人経験により本研究科における学修・研究に耐
えうる基礎的知識、論理的な思考力、豊かな表現力を重点的に評価し、面接により選抜し
ます。

留学生特別選抜入試では、成績証明書、履歴書に加え、日本語の運用能力により本研究

科における学修・研究に耐えうる基礎的知識、論理的な思考力、語学力を重点的に評価し、小論文の学力検査、面接により選抜します。

博士課程（後期）

一般入試及び社会人特別選抜入試では、成績証明書、研究成果報告書、研究計画書、履歴書により本研究科における学修・研究に耐えうる基礎的知識、論理的な思考力を重点的に評価し、英語の学力検査、口頭試問により選抜します。

留学生特別選抜入試では、成績証明書、研究成果報告書、研究計画書、履歴書に加え、日本語の運用能力により本研究科における学修・研究に耐えうる基礎的知識、論理的な思考力、語学力を重点的に評価し、英語の学力検査、口頭試問により選抜します。